

研究のまとめ

実行委員会研究部

1. 研究総論 (○～成果, ▲～課題)

(1) 研究主題・副主題について

研究主題・・・『未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ』

副主題・・・ ～授業から日常へ, 授業から未来へ～



○学習指導要領等, 現在の国の教育の動向や社会情勢, 子どもの現状等を踏まえたものであった。

○授業を研究の中核に据え, 日常実践の広がりや深まりと生涯スポーツの視点を意図したものであった。

○これまでの北海道の体育研究の積み上げのもとに設定し, 提案することができた。

○構造図によって, 主題に迫るための研究内容の明確化と共有化を図ることができた。

(2) 目指す幼児児童生徒像について

「生涯にわたって生き生きと運動・スポーツに親しむ子ども」



○幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校の各授業において, 子どもたちの生き生きと主体的に運動に取り組む姿と, 友だちと積極的にかかわりながら楽しく活動している姿が存分に見られ, 目指す幼児児童生徒の姿を具現化することができた。

【アンケートより】(一部抜粋)

- ・生き生きとした姿が見られた。(白楊幼稚園)
- ・目を輝かせて遊んでいるところに感動した。(白楊幼稚園)
- ・自発的に関わっている姿がたくさん見られた。(白楊幼稚園)
- ・楽しみながら, 生き生きと運動していた。(白楊小)
- ・年長と5年生との取組やかかわりがとてもよかった。(白楊小)
- ・絶え間なく運動し, 仲間意識も育っていた。(白楊小)
- ・どの子どもも生き生きと運動していた。(宮の森小)
- ・子ども同士のかかわり合いが豊かな授業であった。(宮の森小)
- ・きびきびとした行動や爽やかな態度に気持ちよく参観できた。(宮の森小)
- ・自分の目標に向かって, 生き生きと運動していた。(福住小)
- ・仲間を見る, 言葉で表現する, 素晴らしい取組であった。(福住小)
- ・とても鍛えられており, 技能の高さに驚かされた。(福住小)
- ・きびきびとした動き, 生き生きとした表情, 素敵です。(資生館小)
- ・運動量が多く, 技が美しくなったりシュートが上手になった。(資生館小)
- ・とても元気に意欲的に運動していた。(資生館小)
- ・子どもたちの顔が輝く授業であった。(上野幌中)
- ・生徒はよく考え, よく交流できていた。(上野幌中)
- ・素直で, 明るく, 前向きなよい生徒たちでした。(上野幌中)
- ・普段とは違う場所での授業でしたが, 生徒, 素晴らしいです。(月寒中)

- ・本当に素晴らしい意見の言える生徒たちでした。(月寒中)
- ・さわやかな先生、生徒に出会え、来てよかったですと思いました。(月寒中)
- ・生徒が素直で、純真な取組に好感がもてました。(向陵中)
- ・一人一人が話し合いに積極的に参加していた。(向陵中)
- ・ペアやグループの雰囲気良く、前向きな活動が見えた。(向陵中)
- ・運動に興味を持っている生徒が多く生き生きと活動していた。(恵庭南高)
- ・自分たちで創意工夫し、自分たちで授業を運営していた。(恵庭南高)
- ・仲間と励まし合って、楽しそうに運動していた。(恵庭南高)
- ・運動量も多く、積極的、意欲的に取り組んでいた。(北広島高)
- ・生徒は自信をもって、発表していた。(北広島高)
- ・雰囲気がとてもよく、楽しく取り組んでいた。(北広島高)
- ・楽しく授業を受けている姿、整然と動く姿に感動しました。(豊明養護)
- ・子どもたちが張り切って、集中していて、素晴らしかった。(豊明養護)
- ・体力づくりで30分間継続できる子どもたちに驚かされました。(豊明養護)

(3) 研究の視点について

〈視点1〉 生涯スポーツにつながる教材の開発・工夫



- 系統性を明らかにした上で、身に付けさせたい技能を明確にした授業を展開することができた。
- 地域や学校、子どもの実態を踏まえ、教師の創意を十分に生かした教材の開発・工夫をすることができた。
- 子どもの意欲や興味を高めるとともに、個に応じた教材の開発・工夫ができた。
- どの授業も運動量が豊富にあり、技能の高まりが見られた。
- 運動・スポーツの日常化や次の段階の校種へのつながりを意図した授業であった。
- ▲身に付けさせたい動きや技能のおさえと、習得のプロセスをより明確にし、工夫する。
- ▲運動の場と身に付けさせたい力の関連をよりシャープにする。

【アンケートより】(一部抜粋)

- ・幼児の発達に合わせた素晴らしい研究であり、学びの連続性の表も参考になった。
- ・教材や補助具の開発・工夫、場の設定が素晴らしい。
- ・運動量が豊富で、安全面も十分配慮されていた。
- ・運動の系統を考慮して6カ年のカリキュラム作成が素晴らしい。
- ・言語活動を充実させる工夫が見られた。
- ・題材の目標がしっかりと共有されていた。

〈視点2〉 協同的、課題解決的に取り組む学習過程の構築



- 課題解決的な学習によって、自ら学ぶ力や仲間と共に学ぶ力などの課題解決力が身に付くことを主張することができた。
- 学習課題を明確にすることによって、意欲的な学びを創りあげることができた。
- 子ども同士の学び合いによって、コミュニケーション能力や思いやりの心をはぐくむことができた。

▲「課題解決力」と「思考・判断」の関連を明確にする。

▲学級全体の学習課題と個々の課題の関連と、課題達成に向けた運動の場や手立ての有効性なども含めた学習過程のより一層の工夫、充実を図る。

— 【アンケートより】（一部抜粋） —

- ・運動の工夫を見付け、それを全体のものにしていく過程は見事であった。
- ・全体交流の時間がとても有効であった。
- ・思考を揺さぶる時間が設けられ、指導と評価の一体化に迫る授業であった。
- ・各グループごとに相談して、コツを見付けていく方法は有効であった。
- ・子ども同士が自然と関わり合える工夫がちりばめられていた。
- ・運動のポイントを可視化しているところがすばらしい。
- ・1時間の目標、到達目標など、明確に生徒に伝わっていた。

〈視点3〉 確かな学力を保障する指導と評価の充実



○1時間の授業ごとに評価規準と達成のための手立てを明確にしたことにより、教師の見取りやかかわりがシャープになり、確かな体育の力を確実に身に付けさせることができた。

○どの授業も教師と子どもの信頼関係が見事に築かれており、教師の熱意、姿勢や手立ての工夫等、確かな体育の力の習得のための教師の在り方が明らかになった。

▲「思考・判断」の評価規準の具体的な内容とその見取りの場、子どもへのフィードバックの方法等、今後さらに実践を積み上げ、共通化していく必要がある。

▲評価したことをどう次の指導に生かしていくか、どう次の授業改善につなげていくか、今後さらに明らかにしていく必要がある。

— 【アンケートより】（一部抜粋） —

- ・環境を通じた遊びと適切な教師のかかわりに感動した。
- ・教師の丁寧で、共感的な関わり（表情、助言、言葉がけ）がよかった。
- ・ICT機器が効果的に活用されていた。
- ・学習カードに記入することで、思考が深まっていった。
- ・自己評価だけではなく、他者評価もしっかりと行われていたのがよかった。

(4) 基調報告について

○北海道の子どもの実態や地域性、これまでの北海道の体育研究の成果、新しい体育の方向を踏まえたものであり、北海道の主張が時間内で、分かりやすく伝わるものであった。

○パワーポイントの構成や発表者の発表の仕方などが大変良かった。

— 【アンケートより】（一部抜粋） —

- ・よくまとまっていて、わかりやすい、イメージしやすいものであった。
- ・短い時間の中で必要なことが確実に盛り込まれていた。
- ・基調報告をされた先生の口調、速さなど、発表の仕方がよく、聞きやすかった。
- ・体力の数値の向上ばかりを目指すのではなく、個々の子どもの運動への意欲を大切にしていることがよくわかった。
- ・北の大地から新しい発信をしようという気概が感じられるものであった。
- ・全体会の進捗状況をとらえ、臨機応変に発表調整することができていた。

2. 研究推進 (○～成果, ▲～課題)

(1) 指導案形式

- 研究の視点を共通の項目にするなど、研究内容の共通化を図ることができた。
- 評価規準の明確化と達成のための具体的な手立てを明確にすることができた。
- ▲本時の目標の記述や評価について、今後の動向を踏まえ、検討していく必要がある。(語尾の「～することができる」や目標・評価の観点と、その記載の仕方など)
- ▲単元構成の1ページが時間数の多い単元の場合、収まり切らず、苦勞した。

(2) 支部研究発表

- オール北海道で研究を継続してきていることを主張することができた。
- 各支部研究の整理、吟味・検討、今後の方向付け等に生かすことができた。
- ▲本研究及び各分科会会場校の研究内容との関連を図ることがなかなか難しかった。

3. 分科会運営他 (○～成果, ▲～課題)

- 協議内容が明確であり、短い時間の中で、中身の濃い協議が進められた。
- 明確に研究の主張をしたり、質問に対して丁寧に答えたりすることができた。
- ▲盛りだくさんで、協議の時間が少なかった。午後の協議への参加者を多くする工夫が必要だった。
- ▲事前の司会者、記録者の打合せ会などをもつと、よりスムーズな進行ができた。

4. 今後の研究に向けて

☆確かな体育の力の課題解決力の中身の検討

学習指導要領では、「これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむ」という文言がある。また、今大会は、課題解決力を「自ら学ぶ力」「仲間と共に学ぶ力」とおさえた。この二つの力と思考力・判断力・表現力との関連、また、この二つの力の構成要素(課題発見力、創造力、コミュニケーション力など)について、今後、十分な吟味・検討が必要である。

☆評価規準と達成のための手立ての研究

実践を通してのさらなる研究の積み上げ(特に思考・判断について)の検討、実践が求められる。

☆目標の表記

今回、単元や本時の目標を「～することができるようにする」と教師サイドの語尾にしたが、今後、目標達成の手立て、評価方法等との実効性から、語尾の扱い、本時に記載する目標の数など、全国の動向を踏まえ、検討していく必要がある。

授業づくりや研究発表にご指導ご支援いただいた先生、細部に至るまで支えていただいた実行委員会、分科会運営委員、会場校の先生、そして、研究を具現化していただいた授業者並びに研究発表者の先生、本当にありがとうございました。皆様のご協力ご尽力により、「北海道の体育研究」と「子どもと教師の生き生きとした素晴らしい姿」が提案され、全国の先生方から高い評価を得て、未来へとつなげることができました。

今大会は、これまでの脈々と続いてきた北海道の体育研究の充実・改善に向けたチャレンジ精神と熱意あふれる真摯な日常実践の積み上げの上に大成功を収めることができたものと思います。しかし、今大会はあくまでも、北海道の体育研究の一通加点に過ぎず、これからも熱意を持ち続け、創造性を十分に発揮し、和をもって北海道の体育研究 授業研究に邁進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

第51回全国学校体育研究大会北海道大会の研究

大会主題

『未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実』

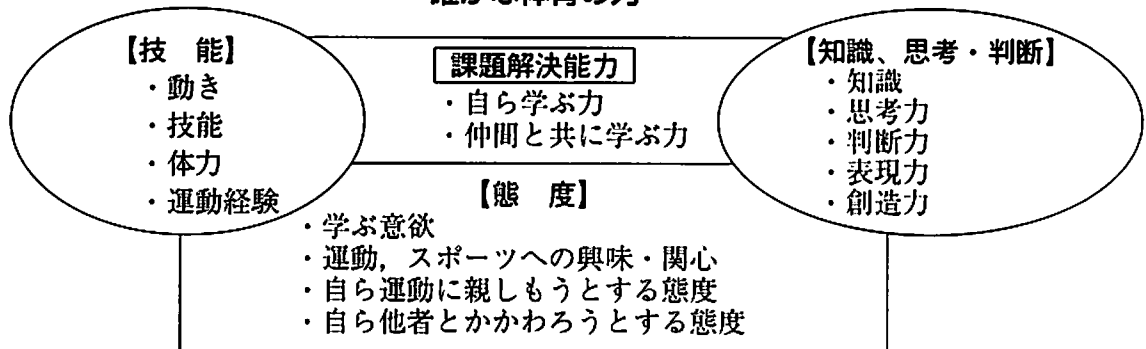
～授業から日常へ，授業から未来へ～

目指す幼児児童生徒の姿

生涯にわたって生き生きと運動・スポーツに親しむ子ども

育成したい力の明確化

確かな体育の力



確かな体育の力をはぐくむ手だて

〈3つの視点〉

〈視点1〉

生涯スポーツにつながる教材の開発・工夫

- 身に付けさせたい技能の明確化
 - ・発達段階を踏まえた指導内容，系統性
 - ・技能分析
 - 運動技術のポイントやコツ
- 子どもの実態把握
 - ・学校や学級の子どもの実態
 - ・体育の学力の定着状況
- 教材の開発，工夫
 - ・興味関心，個に応じた教材
- 運動との出会いや場の工夫
 - ・イメージ化，ステップ
- 生涯スポーツへの視点
 - ・日常化，生活化
 - ・応用，発展

〈視点2〉

協同的，課題解決的に取り組む学習過程の構築

- ①学習課題の把握
 - ・学級共通の学習課題
- ②試行活動
 - ・できる技や動きからのスタート
- ③個人課題の設定
 - ・個人技能や集団技能の役割等にかかわる運動課題
- ④追求活動
 - ・実運動を通じた追求
 - ・人とのかわりを生かした追求
 - ・解決のための手だて
- ⑤評価活動
 - ・相互評価と自己評価の関連
 - ・教師による評価（学力の習得状況）

〈視点3〉

確かな学力を保障する指導と評価の充実

評 価	指 導
<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容のまとまりごとの評価規準 ・単元の評価規準 ・本時の学習活動に即した評価規準 〈指導案への位置付け〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問，切り返し，ゆさぶり ・伸びやできばえへの賞賛，認め ・助言（技能，学び方など） ・補助，示範 ・情報提供 <p>〈授業や指導方法の工夫・改善〉</p>
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発言，発表 ・学習カード ・ネームプレート ・VTR撮影 〈評価内容の記録化〉 	

分 科 会 一 覧

	分科会	会 場	研 究 主 題	指 導 助 言 者
幼稚園	1	札幌市立 白楊幼稚園	遊びを中心とした生活の中で幼児期にはぐくみたい力とは ～たくましい心と体を育てるために～	札幌学院大学 教授 大垣 清美
小 学 校	2	札幌市立 白楊小学校	楽しさがある！共に学ぶ！伸びがある！ 体育学習 ～今こそ確かな体育の力を！～	宮崎大学 教授 三輪 佳見
	3	札幌市立 宮の森小学校	何度も挑戦し、仲間と動きを高め合う 体育学習	北海道教育大学 理事 城後 豊
	4	札幌市立 福住小学校	仲間との自分を見つめる学び合いで、 「できる」喜びを味わう体育学習	東京学芸大学 准教授 水島 宏一
	5	札幌市立 資生館小学校	「わかる」「できる」夢中になる体育学習 ～体を動かす心地よさや、動きの高まりを 共に喜び合える子どもを目指して～	宮城教育大学 教授 木下 英俊
中 学 校	6	札幌市立 上野幌中学校	未来へつながる保健体育学習 ～自ら、仲間と高め合いながら、 心と体をはぐくむ生徒の育成～	東海大学 教授 中村なおみ
	7	札幌市立 月寒中学校	「わかる」「できる」楽しさを味わう 授業のあり方 ～仲間と関わりながら、 健やかな心と体をはぐくむ～	国土館大学 教授 田原 淳子
	8	札幌市立 向陵中学校	仲間とともに学び合う保健体育学習	北海道教育大学 教授 古川 善夫
高 等 学 校	9	北海道 恵庭南高等学校	「運動好きな生徒を育て、豊かなスポーツ ライフの基礎をはぐくむ体育学習」 ～仲間と共に心と体をはぐくむ 「体づくり運動」と「剣道」の実践～	東海大学 教授 小澤 治夫
	10	北海道 北広島高等学校	仲間と共にスポーツの楽しさに触れ、知的 に理解することを通して、生涯にわたって 豊かなスポーツライフを継続する資質をは ぐくむ体育学習の追求 ～新学習指導要領の先行実施を通して～	早稲田大学 教授 友添 秀則
特別 支援 学校	11	北海道札幌市立 豊明高等養護学校	「生徒が主体的に取り組むための学習と 支援の在り方」 ～円滑な社会活動を行うための 知識の会得と実践力の育成～	北海道教育大学 教授 安井 友康

公開授業・保育①	公開授業・保育②	研究発表者	
心と体を動かしながら楽しむ遊び 青柳 貴子, 上月 暁子, 本間 真純 橋本 山貴, 木村亜矢子, 川口いずみ 太田 縁, 村上由規乃, 今 っち子 利田 尚美, 渋谷かおり	学級活動 青柳 貴子, 上月 暁子 本間 真純, 橋本 由貴	札幌市立白楊幼稚園 橋本 由貴	
1年 ゲーム 「鬼遊び」 千葉なつき	4年 体づくり運動 「多様な動きをつくる運動」 岩田 悟	札幌市立白楊小学校 岩田 悟	北海道学校体育研究連盟 十勝支部 更別村立更別小学校 青木 真理
3年 走・跳の運動 「幅跳び」 石村 宣人	6年 ボール運動 ゴール型 「フラッグフットボール」 山崎 稔英	札幌市立宮の森小学校 前田 潤	北海道学校体育研究連盟 函館支部 函館市立八幡小学校 酒井 光史
6年 体づくり運動 「体力を高める運動」 上木 一也	1年 器械・器具を使っ ての運動遊び 「マットを使った運動遊び」 石田 愉良	札幌市立福住小学校 村岡美千世	北海道学校体育研究連盟 旭川支部 旭川市立千代田小学校 塩崎 真美
6年 器械運動 「マット運動」 山本 敦史	2年 ゲーム 「ボールゲーム」 長谷部舞里	札幌市立資生館小学校 生駒 大地	北海道学校体育研究連盟 上川支部 当麻町立当麻小学校 中山 敬史
2年男女 武道 「柔道」 伊東美美枝 (上野幌中)	3年男女 ダンス 「創作ダンス」 齊藤 研介 (光陽中)	札幌市立上野幌中学校 太田 吏	北海道学校体育研究連盟 釧路支部 釧路町立別保中学校 所 桂太郎
1年男女 体育理論 「運動やスポーツの多様性」 佐藤 光 (月寒中)	2年男女 球技 「ソフトボール」 津村 昌彦 (あやめ野中)	札幌市立月寒中学校 藤田ゆきえ 山口 駿	北海道学校体育研究連盟 渡島支部 知内町立知内中学校 加藤 晃
1年男子 器械運動 「跳び箱運動」 片山 慎司 (向陵中)	1年男女 体づくり運動 「体力を高める運動」 市川 みお (稲陵中)	札幌市立向陵中学校 大川 潤	北海道学校体育研究連盟 留萌支部 天塩町立天塩中学校 伊藤 大輔
1年 体づくり運動 工藤 直人	2年 剣道 栄花 英幸	北海道恵庭南高等学校 加藤 忠	
1年 体育理論 森田 有	2年 創作ダンス 堀川 政彦	北海道北広島高等学校 内海 久	
1年 性の指導 「大人になるための学習」 伊藤沙保里	2年 球技 「グラウンドゴルフ(室内)」 小原 要	北海道札幌市立 豊明高等養護学校 兒玉 亜米	